

RAILWAY JOURNAL 鉄道ジャーナル

1976・12 NO.118 Vol.10 NO.13

●昭和51年10月20日印刷

●昭和51年12月1日発行

●編集・発行者 竹島紀元

●編集スタッフ

金子俊夫／塚本雅啓／松尾定行

／宮原正和

●アートディレクト 岡田徹也

●発行所

(株)鉄道ジャーナル社

〒102 東京都千代田区飯田橋4-8-6

日産ビル 電話03(264)1891・1892

振替口座 東京9-82820

●印刷所 凸版印刷株式会社



12月号の編集が追込みに入っている今年末までまだ2ヵ月近くを残しているが、昭和51年の鉄道界をふり返ってみると、低調さの目立つ年であった。とくに国鉄では赤字問題をはじめ、暗い話題が多かったのが印象に残る。

まず1月、国鉄は旅客運賃50.4%、貨物運賃53.9%（いずれも平均）の大幅値上げを申請したが、通常国会で審議未了となり、国鉄が希望した6月1日実施は見送りとなった。この結果、国鉄は深刻な資金不足に当面し、なりふりかまわぬ全社的な経費節減やポスターによる赤字キャンペーンに努力しているが、焼石に水、事実上の破産という窮地に追い込まれた。また事故の発生も多く、1月の特急「いしかり」の大幅運休をはじめ、2月＝根室本線で特急「おおぞら」脱線転覆、5月＝総武本線で貨車脱線、8月＝山陰本線で急行「石見1号」脱線、山陽本線で貨車脱線、10月＝函館本線で貨車脱線など、大事故が相次いだ。

一方、明るい話題ではSL全廃による動力近代化の達成と、長崎・佐世保線の電化完成、寝台特急の衣がえなど、この一年は国鉄にとって試練の年だったといえよう。

目次 特集●関西の鉄道<第2部>

- 7 レールウェイ・レビュー
- 8 ニュースファイル(国鉄・私鉄・海外鉄道の動き)
- 14 車両基地(国鉄動力車の新製・改造・転属・廃車)

特集 関西の鉄道<第2部>

- カラーグラフ
- 15 大阪駅24時間 永崎祐之
- 28 京阪神を軸とした優等列車のあゆみ〔下〕 種村直樹
- 40 大阪の地下鉄——その2 宮本政幸
- 47 ライバル決戦——その2 名阪間スピードレース 野村 董
- RJ技術解説シリーズ
- 54 京阪3000系の自動座席転換装置 土居 毅
- 56 関西の都市と鉄道 宮本政幸
- 60 栄光と悲運の旅路 平野雄司

特別企画★速報!! 10月ダイヤ改正の表情

- ドキュメント★列車追跡⑩
- 64 新特急<北アルプス>立山への道 松尾定行
- 76 10月ダイヤ改正の表情 編集部

- レールウェイ・トピックス
- 82 名古屋市地下鉄3000系デビュー 徳田耕一
- 84 オレンジオペレーション始末記 須田 寛
- 88 国鉄はなぜ赤字なのか 種村直樹
- ‘名列車’誌上リバイバル⑦
- 92 <あさかぜ>の20年——その3 編集部
- 99 トップアングル
- 105 レールファン・ノートから⑩ 師走と年賀状 本島三良

緊急特別企画<京阪100年号>少年死亡事故を考える

- 路面電車再発見
- 115 広島電鉄市内線 日本路面電車同好会
- 122 ヨーロッパの鉄道と列車の旅(34)イギリスの鉄道⑤ 山之内秀一郎

- 106 ブルー・トレイン
- 112

ワイドレンズ／新聞記事ざっくばらん／魚眼／鉄道友の会からのお知らせ／RJクイズ／ジャーナル編集室／次号予告／乗務員室

表紙 鉄路の年輪

栗田正一

東山トンネル(山科口)を出る特急<雷鳥>

定価480円 円60円